平成30年度

文化芸術による子供の育成事業―巡回公演事業―

雅楽「伶楽舎」

<邦楽公演>

プログラム

第1部　雅楽ってなあに?

雅楽の楽器の音をきいてみよう

唱歌で「越天楽」をうたってみよう

演奏をきいてみよう ――「平調音取」「越天楽」、「陪臚」(プログラムBのみ)

舞楽をみよう ――「陵王」

雅楽で他の曲もきいてみよう ――わらべうた(プログラムAのみ)

―――――――― 休憩 15分

第2部　日本昔ばなしと雅楽

ポン太と神鳴りさま［作曲・脚本＝芝 祐靖］(プログラムA)

カラ坊 風に乗る［作曲・脚本＝芝 祐靖］(プログラムB)

みなさんは「雅楽」をきいたことがありますか?

神社のお祭や結婚式のときにきいたことがある、という人もいるかもしれませんね。
「雅楽」は、千年以上もの長い間、ずっと日本に伝えられてきた音楽です。
もともとは5～9世紀ごろに中国や朝鮮半島から日本に伝えられた外国の音楽だったのですが、
しだいに日本に合うようにととのえられ、日本人が作った曲も加えられました。
平安時代の貴族たちは、雅楽を合奏するのが楽しみのひとつでした。
今でも宮中や神社、お寺の儀式に必要な音楽として大切に演奏されています。
みなさんの聞きなれた音楽とはずいぶん違うでしょうが、
ぜひ、ひとつひとつの楽器の個性的な響きと、
ゆったりとした時間の流れを感じながら、聞いてみてください。
第二部では、昔ばなしと雅楽をあわせた曲を演奏します。
雅楽に親しんでもらえるように、特別に作った楽しい曲で、
面白いお話と、生き生きとした雅楽の表現を、
どうぞたっぷりお楽しみ下さい。

雅楽の楽器

1)笙

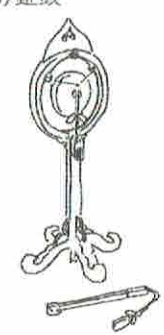
2)篳篥

3)龍笛

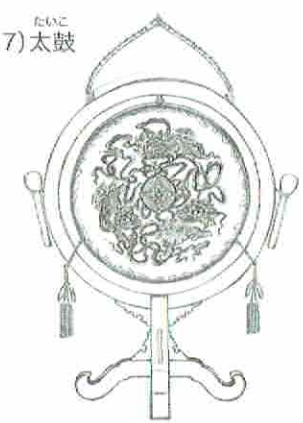
5)箏

4)琵琶

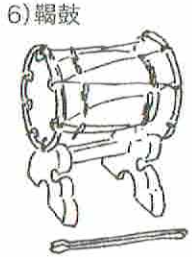
8)鉦鼓



7)太鼓

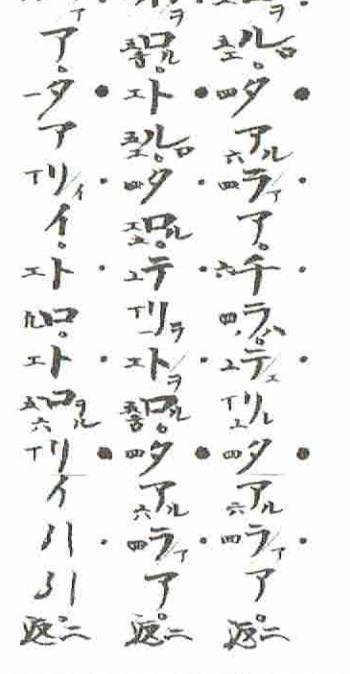


6)鞨鼓



〈雅楽の楽譜〉

篳篥の唱歌

越天楽

小曲　早四拍子　拍子八　拍子加　後度三